

事業所防災リーダーに向けて、防災知識や防災に関するお知らせ等を定期的に発信します。

問題

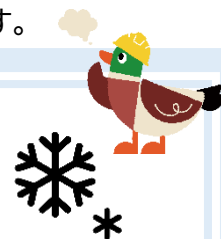
2024年2月5日は都内でも大雪警報が発表される記録的な大雪となりました。都内(千代田区)の最深積雪は何センチだったでしょうか？

①5cm

②8cm

③15cm

正解：②



数センチメートルは軽微なイメージですが、交通機関の遅れや運休、通行止め、転倒事故などが相次ぎました。しっかりと積雪・路面凍結対策をしておきましょう。

参考：東京管区気象台『[令和6年2月5日から6日にかけての大雪に関する気象速報](#)』



事業所でできる雪害対策

事業所でできる雪害対策には、スコップなどの除雪用具の用意だけでなく、危険箇所の事前把握や交通機関の停止に備えた業務体制などの事前検討なども含まれます。下記を参考に、自社の雪害対策を見直してみましょう。

日常的な備え

- ❑ 除雪用具、融雪剤・凍結防止剤の備蓄
- ❑ 転倒防止マット、吸湿性マットを配備
- ❑ 冬用タイヤへの交換、スノーブラシの用意
- ❑ 滑りにくい靴底の冬靴の用意
- ❑ 従業員への安全教育

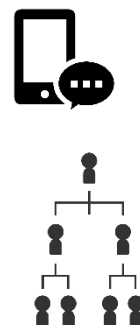
建物・建物周辺の確認

- ❑ 建物の危険箇所の事前把握（段差、屋外通路、駐車場、軒下など）
- ❑ 雨どい・排水管の補強
- ❑ 屋根の耐雪診断



体制、判断基準の事前構築

- ❑ 気象情報の確認体制（アラートを利用する等）
- ❑ テレワークへの切替判断
- ❑ 共有連絡体制(社内外)
- ❑ 作業手順をマニュアル化
- ❑ 明確な役割分担
- ❑ 責任者不在時の代行者指定
- ❑ 危険マップの作成
- ❑ 除雪作業体制



路面凍結・転倒災害対策

参考：厚生労働省 長野労働局『[STOP！冬季労働災害](#)』

- ✓ 事業所内外の路面が凍結しやすい箇所は把握しておきましょう。
- ✓ 屋外通路や駐車場の危険マップを作成しておきましょう。
- ✓ 夜になると、凍結した路面が見えにくい場所には照明を設置する等、工夫しておきましょう。
- ✓ 危険ステッカーを掲示するなど、転倒危険箇所を見える化しましょう。



参考：厚生労働省 職場のあんぜんサイト『[危険箇所の表示等の危険の「見える化」](#)』

実際に雪が降ったら



- ✓ 屋外作業の中止やテレワークへの切替えなど、早期に判断しましょう。
- ✓ 床等の水たまりや氷は放置せず、都度除去しましょう。溜まりやすい箇所には吸湿性のあるマットを敷くなどの対策をしましょう。
- ✓ 車はなるべく使用しないようにしましょう。使用する場合は、車間距離に気を付け、傾斜のある場所では特に停車中の車の動きに注意しましょう。
- ✓ 屋外駐車場の場合、ワイパーを立て、スノーブラシを使用しましょう。



東京都からのお知らせ

東京都では一斉帰宅の抑制について、日ごろからイメージしてもらうためにガチャピンとムックがわかりやすく解説する動画を作成しております。本動画はどなたでも無料で、ご都合のよいタイミングで視聴いただけます。下記のリンクまたはQRコードからぜひご覧ください。

https://www.bousai.metro.tokyo.lg.jp/kitaku_portal/1006183/index.html

